

「省エネルギー学習会」					
会議年月日	2020年10月2日	時間	13:30～15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	石垣、難波、下田、平手、吉永、高橋、増永、山田、松島、横田、春田(記) Web:大前				
議 題					
10月度「省エネ学習会」を開催した。					
テーマ:「家庭の省エネエキスパート検定」について(その2) 講師:筒井義憲(OBN会員)					
1, 2020年8月に実施された検定問題について解説があった。					
<検定問題の抜粋>					
<p>【問題 14】 部門別エネルギー需要の動向について述べた以下の文章のうち、最も不適切なものをひとつ選び記号で答えなさい。(配点3点)</p> <p>ア. 1980年代後半からの業務部門のエネルギー消費の増加要因は、事務所や小売等の延べ床面積が増加したこと、それに伴う空調・照明設備の増加、オフィスのOA化の進展等によるものであると考えられる。</p> <p>イ. 最終エネルギー消費の内訳は、産業・業務他部門を合算し、約6割となり、運輸部門が約2割5分、家庭部門が約1割5分となっている。</p> <p>ウ. 家庭部門は、第一次石油危機の時と比較してエネルギー消費量はほぼ同じである。</p> <p>エ. 貨物部門のエネルギー消費の内訳をみると、自家用トラックと営業用トラックで全体の約9割を占めている。</p>					
<p>【問題 42】 太陽熱利用機器について述べた以下の文章のうち、最も適切なものをひとつ選び記号で答えなさい。(配点3点)</p> <p>ア. 太陽熱利用機器を設置しても、曇等により太陽熱を利用できない場合に備えて、補助熱源の設置が必要になる。</p> <p>イ. 太陽熱利用機器では、太陽エネルギーの10%程度しか利用することができない。</p> <p>ウ. 太陽熱利用機器のデメリットは、熱を熱として利用することから、効率が悪いということである。</p> <p>エ. 太陽光発電は、太陽光をヒートポンプにより電力に変えることで、太陽エネルギーを100%利用する特長がある。</p>					
<次回予定>					
日時=2020年11月6日(金)13:30～15:30 場所=流山市生涯学習センター(3F)大会議室 以上					